

在日米国大使館

駐日米国大使 ラーム・エマニュエル 閣下

抗議文

貴国がネバダ州の核実験場において、昨年6月と9月に臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

ロシアによるウクライナ侵略、そして北朝鮮による核実験再開の兆候など、核兵器使用のリスクが非常に高まる中で明らかとなった貴国による臨界前核実験実施は、核兵器廃絶への多くの人々の願いと、核兵器禁止条約の発効をはじめとする国際社会の努力に逆行し、世界の平和と安全を脅かすものであり、激しい憤りを覚えます。

私たち帯広市民は、核兵器のない真の世界平和の実現に向けて、貴国が核軍縮に取り組み、再度の核実験及び核兵器の維持存続や開発につながるすべての行為を行わないよう強く求めます。

上記抗議内容について、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2022年4月18日

帯広市長 米沢 則寿

